### 第25回 必のシンポジウム

# いのちをつなぐ

### ~『ガンが病気じゃなくなったとき』 その 20 年後~

最も辛かったロタ島への旅は時を超えて最高の旅に その訳は・・・

## 12/12(十)場所:フォルテワジマ4Fホール(本町二丁目)

「死があるからこそいのちは生まれ育つ、そして生きる力となり、受けつがれ、親から子へ、孫へと伝えられる」 肺ガンのご主人の最後を幼い 3 人の子ども達と共にご自宅で看取られた経験を著し、講演している岩崎順子 さん。あれから 20 年。 幼かった 3 人はそれぞれ立派に成人し、当時いのちの期限がわずか数か月だとわかっ たご主人と最後の家族旅行となった思い出のロタ島へ母を招待した。「おかんとして十分してくれた。これから は、岩崎順子を生きろ。」そう言って母をねぎらい礼を伝える 3 人。亡き夫岩崎圭介さんと岩崎順子さん夫妻 が伝えたかった事は何だったのか。3人がそれぞれに経験した大人への道。苦しかった事、悲しかった事、嬉し かった事。それらを乗り越える原動力となったのは何だったのか。

第 25 回目の心のシンポジウムは『いのちをつなぐ』と題し、 岩崎家の宝物を拝聴する二時間半です。

#### ●13:00 開場

13:30~14:30 講演『最も辛かったロタ島への旅は時を超えて最高の旅に その訳は・・・』 講師: 岩崎順子さん

14:40~15:50 パネルディスカッション~岩崎順子さんと3人の子ども達~

岩崎朝蔵(あさぞう)さん、岩崎漁次(りょうじ)さん、岩崎蕗子(ふきこ)さん 聴き手:藤浪明覚(本シンポジウム事務局)





朝蔵さん





蕗子さん

資料•会場費: 1000 円

- ●16:30~18:00 懇親会(軽食とソフトドリンク) 参加費:3000円(先着順)
- ■主催:心のシンポジウム実行委員会、和歌山内観研修所 和歌山市冬野 1045 和歌山内観研修所内 担当 藤浪明覚 073-479-1871
- ■後援予定:和歌山県、和歌山市、和歌山市教育員会



#### ■岩崎順子さん プロフィール ■

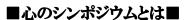
いのちの講演家 和歌山県海南市在住

2001 年まで親子のコミュニケーションスペースを作るため「こどもふくのティンクル」を経営。 いのち、人権、心、子ども、親子、高齢者、生と死、グリーフケア、認知症、災害を通しての絆、ご縁について 全国で 800回以上講演。 奈良東大寺、永平寺などで僧侶に対する講演も行っておられます。

また、今年6月にはJR西日本あんしん社会財団が主催する連続講座「『いのち』を考える」で講演。

元オリンピックランナーの松野明美さんや作家の家田荘子さんらとともに 『いのち』をテーマにした連続講座を担当されました。

- ・著書:夫との体験を綴った『ガンが病気じゃなくなったとき』(青海社)
- ・連載:『み・ち mi・chi』(オフィス・コカワ)
- ・ブログ 「大きないのちのめぐりの中で」http://poku0216.blog.fc2.com/



日本で生まれた思考整理のツール「内観法」の研修施設和歌山内観研修所が主催。 いのちや心、生き方について考える場として年に一度開催。今年で 25 回目となります。

アメリカの心理学者ディビッドレイノルズ氏や現サムライジャパン監督小久保裕紀氏、作家の神渡良平氏、イギリスロイヤルフィルハーモニー主席チェリストのノーマンジョーンズ氏など多数の講師を招いてご好評をいただいてきました。

### ■内観法とは■

日本で生まれた思考整理のツール。企業家(現シンコー)の吉本伊信が企業の貸借対照表にヒントを得て考案。お父さんやお母さんなど身の回りの人に対して、幼稚園・小学校低学年・高学年と年代を区切って、「してもらったこと」「してかえしたこと」「迷惑かけたこと」の3点を集中的に思い出す思考と感性のトレーニング。一週間集中的に課題に取り組んだ気付きから、客観的な視点で自分の過去を捉えなおしたり、こだわっていた出来事から解放されたり、より前向きな視点で今後の生活について考えるようになる。

昭和30年代~40年代にかけて、少年院や刑務所で受刑者が内観を行い人生を変えていったことから注目され、教育 界や実業界でも人材育成に使われるようになった。医療面ではアルコール依存症の断酒率の向上に寄与するとして、 内観療法に取り組んでいる医療機関もあるが、広く理解・認知されているとは言い難い。学術研究の場として日本内観 学会(設立1978年)、日本内観医学会(設立1998年)がある。和歌山内観研修所は内観創始者吉本伊信の指導を受 け 1984年ごろより活動しています。尚、本年10月18日(土)に内観医学会和歌山大会が和歌山ビッグ愛にて開催。

-----

第25回心のシンポジウムお申込みフォーム 以下ご記入の上FAXをお願い致します。 FAX:073-460-0315

MAIL:kokoro.sympo@gmail.com 記入日2015年 月

日

お名前		ご所属			
住所		電話 メール			
同行者 お名前			•	懇親会:	人